

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知る区ロード			整理番号	527		枝番号		
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220303		連絡先電話番号	3363		
係名		景観係			上位施策名				No	
予算事業名		杉並「知る区ロード」		コード	52500		住民参加のまちづくり	3		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		62 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区まちづくり基本方針					
	区民等				(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		歩いて杉並を知る「知る区ロード」というルート上の目印(道標)やルート沿いの休憩所(オアシス)を維持管理・整備する。「知る区ロード」を活用したイベントを開催し、まちについてのマガジンを発行する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
		(1) 知る区ロード探検隊参加者数		(1)						
		(2) すぎまるマガジン発行部数		(2)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	1,889	1,024	2,000	863	2,000		
	活動指標(2)		部	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,783	7,025	6,315	5,286	6,538	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円		1,281		973	1,000		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.73	0.70	0.90	0.80	0.80		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,631	6,296	8,190	7,280	7,280		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	11,414	13,321	14,505	12,566	13,818		
	単位あたりコスト ÷		円	6,042	13,009	7,253	14,561	6,909		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	11,414	13,321	14,505	12,566	13,818			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	43.2	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	83.7			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民ボランティアである「すぎまるサポーター」がイベントの企画内容を決めたり、イベントの運営を区とともに行った。また、すぎまるマガジンの内容・記事の取材等についてもサポーターの協力があった。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初の知る区ロード探検隊員数は、約4,000人。その後、最高時は約10,000人であったが、最近では減少している。また、当初の目的が薄れ、カードゲーム・グッズ集めに走ってしまっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	知る区ロードのイベントを楽しみにしている声がある一方、規模を減少したこと、マンネリ化に対する苦情が多い。また、すぎまるマガジンの企画・内容等についても質が落ちたとの指摘がある。
	今後の予測	知る区ロードの当初の目的に立ち返り、まち歩きの結果としての区民からの提案・疑問を具体的なまちづくりに生かしていける事業とするために、区民との協働により実施していくことを目標とする。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由： 知る区ロード事業自体がストレートにまちづくりに結びつくわけではないが、杉並独自のソフトなまちづくりとして全国的に知名度が高い。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容： 小学生とその家族が主な対象になっているが、周知の仕方・イベント内容によってはより幅広い世代の参加が見込める。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：休憩所(オアシス)等の施設維持管理は区が行う。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容： 区民が主体となってイベントを企画・運営し、区が補佐をするという方法で、コスト・人員を減らすことが可能である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	理由： 理由または具体的内容： イベント内容の提案・実施を区民との協働で行っているが、区民が主体的に運営するまでには至っていない。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み： すぎまるサポーターが主体的にイベントなどを運営できるように、継続的にサポーターの育成を図る。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 知る区ロード探検隊開始から20年目にあたる平成19年までに、今後のあり方を区民を交えて検討し、最終的には、区民主体でイベントを運営し、それを区が支援していくことを目標とする。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 長年、多くの人々が参加しているので、大幅な見直し(廃止等)は、参加者の理解が必要である。また、イベントの企画運営に関わる区民(すぎまるサポーター)が主体的に運営参加できるように、サポーターを育成する。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		まちづくり活動支援				整理番号	529		枝番号			
担当部課		都市整備部 まちづくり推進課		コード	220500		連絡先電話番号	3362		昨年度整理番号	542	
係名 管理係				上位施策名				No				
予算事業名 まちづくり施策の推進				コード	52700		住民参加のまちづくり				3	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 杉並区まちづくり条例 (2) 杉並区街づくり支援要綱 (3) 杉並区まちづくり協議会運営費助成金交付要綱								
	区内において自主的なまちづくり活動を行おうとする区民等の団体			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) まちづくりの気運を高め、地域住民の交流及び生活環境の向上を図るため、地域の住民主体によるまちづくりルールの作成など積極的にまちづくり制度を活用することができる団体を育成する。								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) まちづくり条例に基づき、以下の3制度により、地域でのまちづくり活動を支援する。街づくり活動助成制度=自主的な街づくり活動を行う団体へ活動経費の一部を助成 街づくりコンサルタント派遣制度=街づくりの専門家の派遣 まちづくり協議会運営費助成制度=認定された協議会へ運営費の一部を助成。			活動指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
			(1) 活動助成団体数		(1)							
			(2) コンサルタント派遣件数		(2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		団体	15	13	15	8	15	15	53.3		
	活動指標(2)		件	5	21	30	14	30	30	46.7		
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,219	2,070	3,381	2,470	3,236	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> * 活動助成・コンサルタント派遣については、11年度まで「まちづくり公社」で実施。公社解散後、平成12年から区で実施。 * 平成15年度「まちづくり条例」施行。新たに、協議会助成を加え、活動助成・コンサルタント派遣の3つの制度が条例に基づく支援として位置付けられた。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,266	7,195	7,280	7,280	7,280				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	8,485	9,265	10,661	9,750	10,516				
	単位あたりコスト ÷		円	565,667	712,692	710,733	1,218,750	701,067				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	8,485	9,265	10,661	9,750	10,516					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	53.3	活動指標(2)の16年度達成率%	46.7	16年度予算執行率%	73.1	コンサルタント派遣は5団体から派遣申請があったが、年間の派遣上限回数5回を下回る団体があったため、まちづくり協議会については2団体が認定されているが、1団体が16年度は国の補助対象となったため。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		まちづくり条例のパンフレットを作成し、まちづくり支援に関する制度内容についての周知を図った。街づくり活動助成団体の活動内容の紹介及び条例・支援制度について区役所ロビーでのパネル展示を実施した。コンサルタント派遣団体から、計画案作成の依頼があり、住民主体のまちづくりに貢献することができた。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・活動助成団体数 H12:12 H13:12 H14:15 H15:13 H16:8 ・コンサルタント派遣回数 H12:6 H13:8 H14:5 H15:21 H16:14(計画案作成:1) ・協議会助成団体数 H15:1 H16:1
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	活動助成については、助成額・助成項目について拡充の要望がある。
	今後の予測	条例の施行により、地域のまちづくりについて区民の自主的な研究・活動への制度の整備は整ったが、具体的なまちづくり活動に移行できる団体はまだ少ない。今後も、まちづくり活動につながる地域での各団体・個人のつながりを大切に活動への支援を行っていく必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民の自主的なまちづくり活動に対し、まちづくり条例に位置付けられた技術的・経済的支援をすることで、より区民のまちづくりへの参画を促進できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 支援制度を区民に周知し、より多くの区民に活用してもらえるよう、条例についてのPRを行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 身近な地域環境の改善・向上を図る目的で行われる区民の自主的なまちづくり活動を支援するものであり、受益者負担にはならない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: まちづくり活動は区民・事業者・区の協働のもとに推進される必要がある。とりわけ区民の参画を促進するためには、区によるさまざまな支援が必要である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: まちづくりの活動を行う団体を育成するための技術的・経済的支援を行っている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 地域でのまちづくり活動が一層活発に行われるよう、自主的なまちづくりを行う団体を育成するために支援制度活用の促進を図る。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 16年度に作成した、まちづくり条例及び支援制度のパンフレットによりさらに制度について周知を図り、支援制度のさらなる活用の促進を図り、より多くの区民に身近な地域での区民自身によるまちづくり活動が実践されるよう支援していく。 助成制度については、補助金の見直しの対象となっており、その内容にあわせ助成団体等も含め制度について検討を行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 活動助成については、「ハード面での街づくり」と「ソフト面でのまちづくり」との整理、他課の助成制度との調整が必要。支援制度の活用により、まちづくりへの第一歩である地域での各個人でのつながりを、まちづくり条例に基づくまちづくりへとつなげる。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現状の予算の中で、支援制度活用の拡充を図る。